



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場会社名 株式会社ビーイング 上場取引所 東
 コード番号 4734 URL <http://www.beingcorp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 末広 雅洋
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 後藤 伸悟 (TEL) 059 (227) 2932
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,205	25.6	259	245.8	265	226.0	169	241.0
25年3月期第2四半期	1,756	2.0	75	△32.4	81	△29.8	49	△55.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 167百万円(231.9%) 25年3月期第2四半期 50百万円(△50.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	21 51	—
25年3月期第2四半期	6 31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,935	2,175	44.1
25年3月期	4,714	2,047	43.4

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,175百万円 25年3月期 2,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	5 00	5 00
26年3月期	—	0 00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8 00	8 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	15.7	330	62.6	350	59.0	230	24.2	29 24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社、除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期2Q	8,257,600株	25年3月期	8,257,600株
26年3月期2Q	392,715株	25年3月期	392,715株
26年3月期2Q	7,864,885株	25年3月期2Q	7,864,922株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、当社グループはパッケージソフトウェアの開発・販売を主たる事業としているため、当社グループの業績は売上高の増減がほぼそのまま営業利益に反映するという特徴があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済対策や日本銀行の金融政策によって円安・株高が進むとともに、企業収益が改善傾向となりました。建設業においても、公共投資が増加しており、設備投資に回復の兆しが見られます。

そのような状況の中、当社グループでは、主力商品のバージョンアップ販売を着実に進めるとともに、関連製品の販売拡大に取り組んでまいりました。また、5月には株式会社アイデアマンより一括見積りサイト運営事業を譲り受け、インターネットを利用したマッチング・ビジネスに参入するなど、新規事業領域に対しても積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期に比して25.6%増加し2,205百万円となりました。

経費面では、売上の増加にともない売上原価が、一括見積りサイト運営事業の開始にともない販売費が、それぞれ増加しております。この結果、経常利益は前年同期に比して184百万円増加し265百万円となりました。また、四半期純利益は、前年同期に比して119百万円増加し169百万円となりました。

セグメント別の概況は次の通りであります。

(建設関連事業)

建設関連事業につきましては、主力の土木工事積算システムの販売が堅調に推移していることに加え、5月から一括見積りサイト運営事業を開始したこと、また、情報共有システムやプロジェクト・マネジメント関連の販売が着実に伸びたことなどから、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して23.8%増加し1,662百万円となりました。

利益面では、売上の増加にともなう売上原価の増加や、一括見積りサイトにユーザーを誘導するための販売費が加わったことから販売費及び一般管理費が増加しております。この結果、セグメント利益は前年同期に比して137百万円増加し159百万円となりました。

(設備関連事業)

設備関連事業につきましては、水道設備および電気設備CADシステムの販売に加えて、当期より新たに有償サポート・サービスを開始し、顧客満足の向上と差別化に努めてまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して31.5%増加し543百万円となりました。セグメント利益は72.5%増加し110百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて220百万円増加し、4,935百万円となりました。これは主に、現金及び預金が348百万円、のれんが37百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が180百万円減少したことなどによるものです。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて92百万円増加し、2,759百万円となりました。これは主に、賞与引当金が46百万円、長期前受収益が38百万円、未払法人税等が35百万円それぞれ増加し、未払金を含むその他の流動負債が43百万円減少したことなどによるものです。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて128百万円増加し、2,175百万円となりました。これは主に、四半期純利益169百万円を計上し、39百万円を配当したことにより、利益剰余金が129百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.7ポイント増加し、44.1%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて340百万円増加し、1,326百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により獲得した資金は462百万円（前年同四半期は167百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益265百万円や売上債権の減少額180百万円、賞与引当金の増加額46百万円などの収入、法人税等の支払額90百万円などの支出があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により支出した資金は81百万円（前年同四半期は63百万円の支出）となりました。これは主に、一括見積りサイト運営事業ののれんの取得による支出52百万円、有形固定資産および無形固定資産の取得による支出18百万円などがあったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により支出した資金は39百万円（前年同四半期は31百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額38百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年10月3日に公表いたしました予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,544,811	1,893,604
受取手形及び売掛金	708,280	527,414
有価証券	715,730	715,745
商品及び製品	1,057	1,013
仕掛品	1,040	—
原材料及び貯蔵品	5,756	10,997
繰延税金資産	273,741	298,814
その他	33,874	30,510
貸倒引当金	△350	△1,250
流動資産合計	3,283,942	3,476,851
固定資産		
有形固定資産	248,744	246,064
無形固定資産		
のれん	330,706	367,818
その他	55,329	54,133
無形固定資産合計	386,035	421,951
投資その他の資産		
投資有価証券	470,168	470,375
その他	329,896	324,428
貸倒引当金	△4,490	△4,640
投資その他の資産合計	795,574	790,163
固定資産合計	1,430,354	1,458,179
資産合計	4,714,297	4,935,030
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,743	57,832
未払法人税等	95,243	130,491
前受収益	696,143	701,371
賞与引当金	130,333	176,957
その他	281,583	238,096
流動負債合計	1,267,047	1,304,748
固定負債		
退職給付引当金	365,214	385,798
繰延税金負債	428	609
長期前受収益	1,028,296	1,066,396
その他	5,747	1,737
固定負債合計	1,399,687	1,454,541
負債合計	2,666,735	2,759,290

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,586,500	1,586,500
資本剰余金	197,982	197,982
利益剰余金	419,592	549,466
自己株式	△85,682	△85,682
株主資本合計	2,118,393	2,248,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△70,831	△72,526
その他の包括利益累計額合計	△70,831	△72,526
純資産合計	2,047,562	2,175,740
負債純資産合計	4,714,297	4,935,030

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,756,355	2,205,954
売上原価	462,025	556,317
売上総利益	1,294,330	1,649,637
販売費及び一般管理費	1,219,297	1,390,148
営業利益	75,032	259,488
営業外収益		
受取利息	6,044	6,560
受取配当金	152	172
雑収入	1,923	1,001
営業外収益合計	8,120	7,733
営業外費用		
支払利息	25	25
障害者雇用納付金	1,440	480
雑損失	88	727
営業外費用合計	1,554	1,233
経常利益	81,598	265,989
特別損失		
固定資産除却損	1,291	38
事務所移転費用	13,106	138
特別損失合計	14,398	177
税金等調整前四半期純利益	67,200	265,811
法人税、住民税及び事業税	29,081	121,714
法人税等調整額	△11,500	△25,100
法人税等合計	17,581	96,614
少数株主損益調整前四半期純利益	49,619	169,197
四半期純利益	49,619	169,197

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	49,619	169,197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△132	△1,695
為替換算調整勘定	979	—
その他の包括利益合計	847	△1,695
四半期包括利益	50,466	167,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,466	167,502
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	67,200	265,811
減価償却費	17,402	19,913
のれん償却額	10,554	14,887
貸倒引当金の増減額(△は減少)	50	1,050
賞与引当金の増減額(△は減少)	23,124	46,624
退職給付引当金の増減額(△は減少)	21,950	20,584
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	501	△3,524
受取利息及び受取配当金	△6,196	△6,732
支払利息	25	25
固定資産除却損	1,291	38
事務所移転費用	13,106	138
売上債権の増減額(△は増加)	32,978	180,865
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,169	△4,156
仕入債務の増減額(△は減少)	10,950	△5,911
未払又は未収消費税等の増減額	△6,505	5,424
前受収益の増減額(△は減少)	△5,874	5,228
長期前受収益の増減額(△は減少)	2,873	38,099
その他	12,433	△26,147
小計	192,697	552,219
利息及び配当金の受取額	5,761	5,564
利息の支払額	△25	△25
移転費用の支払額	△13,106	△8,094
法人税等の支払額	△18,198	△90,404
法人税等の還付額	849	2,958
営業活動によるキャッシュ・フロー	167,977	462,217
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△168,000	△175,800
定期預金の払戻による収入	118,000	168,000
有価証券の取得による支出	△100,161	△124
有価証券の償還による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△27,054	△7,609
無形固定資産の取得による支出	△25,940	△10,400
投資有価証券の取得による支出	△1,770	△1,751
のれんの取得による支出	—	△52,000
敷金及び保証金の差入による支出	△1,685	△2,185
敷金及び保証金の回収による収入	43,118	97
保険積立金の積立による支出	△104	△104
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,598	△81,879
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△485	△485
自己株式の取得による支出	△11	—
配当金の支払額	△30,894	△38,858
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,391	△39,344
現金及び現金同等物に係る換算差額	789	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	73,777	340,993
現金及び現金同等物の期首残高	972,867	985,811
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	34,225	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,080,869	1,326,804

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,342,771	413,583	1,756,355	—	1,756,355
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,690	—	13,690	△13,690	—
計	1,356,461	413,583	1,770,045	△13,690	1,756,355
セグメント利益	21,506	64,080	85,586	△10,554	75,032

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,662,042	543,912	2,205,954	—	2,205,954
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,799	800	2,599	△2,599	—
計	1,663,841	544,712	2,208,554	△2,599	2,205,954
セグメント利益	159,496	110,546	270,042	△10,554	259,488

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。